



### 目次

● 一診療連携一	一高気圧酸素治療室一	2
● 一人事異動一		4
● 一職場紹介一	「総務部」のご紹介	5
● 一お知らせ一	特殊外来のご紹介	6

## 診療連携

### —高気圧酸素治療室—

#### 高気圧酸素治療室

高気圧酸素治療室（以下 HBO）は2003年6月に新設しました。

治療装置には、第1種治療装置（1人用の治療装置）、第2種治療装置（多人数用の大型装置）2つの型がありますが、当治療室では、第2種治療装置（多人数用の大型装置）KHO-300S（川崎エンジニアリングKK）を設置しております。現在2名の管理医や麻酔科医の管理のもとで、専属の臨床工学技士が1名で運転し、専属の看護師1名で治療を行っています。

当治療室は、最大3名（患者様）+1名（医療スタッフ）が入室可能です。2～3気圧までの空気加圧式で患者様はマスクを通し酸素を吸入します。酸素濃度は23%以下、湿度は50%以上に保ち火災の危険はほとんどありません。医療スタッフが入室可能なため重篤な患者様も治療可能です。加圧時間が長くマスクの付け外しによるエアブレイクが必要になる重篤な減圧症、急性一酸化炭素中毒にも対応しております。

平日の通常治療は、昇圧に15分、2気圧に維持して60分、減圧に15分の計1時間30分です。治療回数は午前2回、午後2回の計4回の治療を行っています。減圧症、ガス中毒などの緊急治療を

要する際には、麻酔科医と臨床工学技士4名が24時間オンコール体制で対応しております。

患者様に安全かつ快適に治療していただくために治療初回時には必ず患者様に治療の説明と注意点をお話してから治療を開始して、治療中も患者さまの状態を常時、モニターや監視窓から観察しております。雑誌やラジオなどを充実させ、気圧変化による温度湿度調整も徹底しております。安全面については、毎回、患者様の入室前に装置内の持ち込み禁止物を職員2名にてダブルチェックしてから入室するようにしております。毎日の始業点検、就業点検は、臨床工学技士が実施しており、装置や関連機器の保守点検は、製造業者や臨床工学技士が定期的に行っております。

高気圧酸素治療安全協会の法人会員に加入しており、日本高気圧環境・潜水医学会学術総会に毎年参加しております。当治療室からも一般演題を発表しており、九州地方会では6題、学術総会では1題発表しております。また、平成19年7月28日に鹿児島県医師会館にて有村運営管理センター長（九州地方会会長）の下で九州地方会が開催されました。

#### 救急的疾患

腸閉塞、急性末梢血管障害-a（重症の熱傷又は凍傷）、急性末梢血管障害-b（広汎挫傷又は中等度以上の血管断裂を伴う末梢血管障害）、脳塞栓、ショック、重症の低酸素性脳機能障害、網膜動脈閉塞症、突発性難聴、急性一酸化炭素中毒、ガス中毒、空気塞栓又は減圧症、重症の急性脊髄障害、ガス壊疽、急性心筋梗塞



### 非救急的疾患

難治性潰瘍を伴う末梢循環障害、脳血管障害、抗癌剤治療と併用される悪性腫瘍、脊髄神経疾患、骨髄炎又は放射線壊死、遷延型一酸化炭素中毒、スモン、皮膚移植

現在、保険給付の適応ではありませんが、スポーツ医学、肝臓病、潰瘍性大腸炎、クローン病、ベーチェット病など、各種の慢性あるいは難治性疾患は、研究的・経験的に有効であると判断されています。

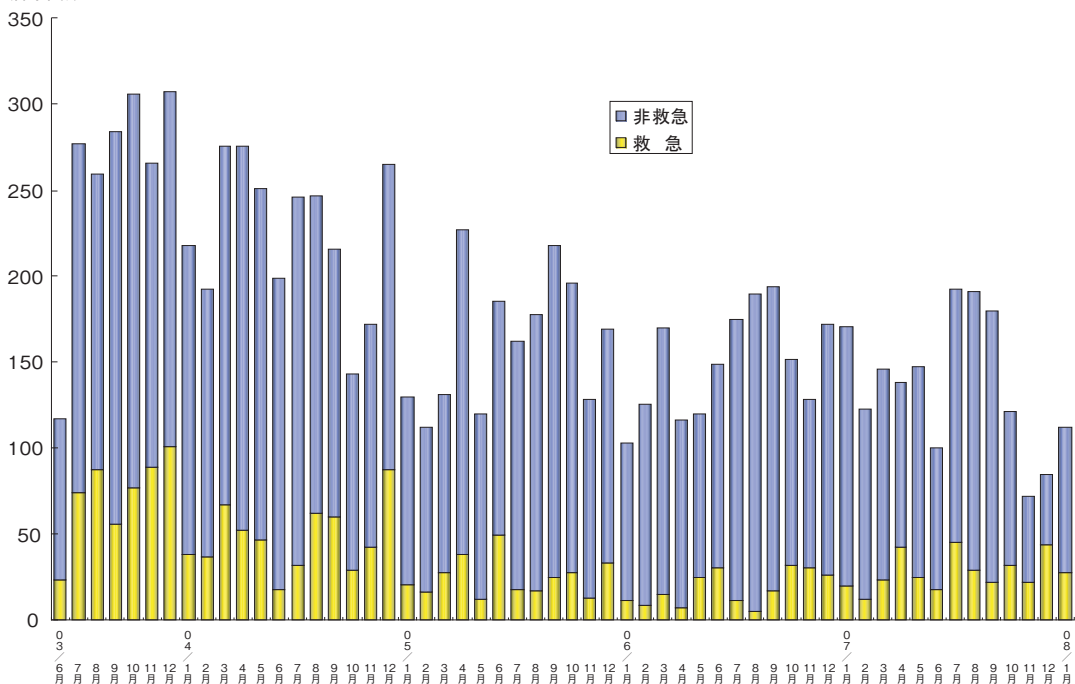
当治療室では、2003年6月から現在の2008年1月まで824名の患者様が治療されました。男女比では、男514名、女310名でした。救急・非救急の割合は、初回救急的疾患は396名、初回非救急的疾患は428名でした。治療回数は、救急的治療1956回、非救急的治療8091回、計10047回でした。対象疾患は、腸閉塞320名、急性末梢血管障害-a（重症の熱傷又は凍傷）1名、急性末梢血管障害-b（広汎挫傷又は中等度以上の血管断裂を伴う末梢血管障害）65名、脳塞栓60名、ショック2名、

重症の低酸素性脳機能障害13名、網膜動脈閉塞症4名、突発性難聴49名、急性一酸化炭素中毒10名、ガス中毒2名、空気塞栓又は減圧症8名、重



治療回数

高気圧酸素治療の実績



対象疾患	件数 (人)
腸閉塞	320
急性末梢血管障害 -a	1
急性末梢血管障害 -b	65
脳塞栓	60
ショック	2
重症の低酸素性脳機能障害	13
網膜動脈閉塞症	4
突発性難聴	49
急性一酸化炭素中毒	10
ガス中毒	2
空気塞栓又は減圧症	8
重症の急性脊髄障害	4
ガス壊疽	2
難治性潰瘍を伴う末梢循環障害	238
脳血管障害	22
抗癌剤治療と併用される悪性腫瘍	2
脊髄神経疾患	12
骨髄炎又は放射線壊死	4

症の急性脊髄障害4名、ガス壊疽2名、難治性潰瘍を伴う末梢循環障害238名、脳血管障害22名、抗癌剤治療と併用される悪性腫瘍2名、脊髄神経疾患12名、骨髄炎又は放射線壊死4名、でした。  
 (臨床工学技士 改元敏行)



人事異動



医療連携室  
 室長 星原 一美

日頃より、皆様には鹿児島市医師会病院医療連携室には多大なご支援とご協力をいただきましてありがとうございます。

本年4月1日より配属となりました。平成20年度もさらに会員医療施設との連携を図りたいと考えております。前任の看護職という資格を有意義に生かしていきたいと思っております。今後とも前任者同様よろしくお願いいたします。

## 職場紹介

### 「総務部」のご紹介

#### 鹿児島市医師会病院の特徴

当院は、鹿児島市医師会会員による共同利用施設として昭和59年6月に開設され、オープンシステムの病院として厚生労働省から開放型病院、紹介外来型病院の指定を受けています。

したがって、当院での受診については、緊急やむをえない救急患者以外は入院・外来ともに医師会員の紹介が必要です。会員は、紹介した患者様の院外主治医となり、院内主治医と共同で診療・手術等を行うことができます。

その他、臨床研修病院、また、鹿児島県からは地域医療支援病院、災害拠点病院、小児救急医療拠点病院等の指定を受けており、平成18年11月に病院機能評価 Ver. 5の認定を受けています。

現在、全国の急性期病院を中心に診療データが提供されている「DPC（診断群分類による包括評価）」の19年度調査協力病院に当院も平成19年7月から参加しました。また、平成19年4月から一般病棟入院基本料（7対1看護）に移行しました。

#### 総務部

総務部の業務は、病院運営の企画・予算管理・人事・最新の医療機器の購入、建物の管理・設備の保守、医療保険の請求事務、庶務・経理・人間ドックなど多岐にわたっています。医療スタッフ以外の仕事は「なんでもやる部」です。

当院が健全経営をするためには総務部の役割は重要な部分です。

#### 庶務課

主に協力委員会、運営委員会、担当理事会、経営会議などの病院運営の事務的業務を行っております。

また、職員の給与・人事・福利厚生など職員のお

世話と公文書の取り次ぎ業務など院内外との接点の仕事を中心に行っております。

ほかに、病院の設備などの運転管理業務や清掃・警備業務などそれらに携わる委託業者の監督管理をはじめ、患者様や職員のアメニティ向上のための営繕・改修の検討と提案、防火・防災管理など建物・設備の保守管理全般を行っております。

さらに、医局の先生方のアシスタント（訪問客、書類整理、文書発送など）も行っております。

#### 医事・経理課

医事係では、患者様の受付から入退院、医療費請求、診療報酬請求事務、病棟事務など、医療に関わる事務全般を担当しております。

また、人間ドックをメインとする健診業務の窓口として、各事業所ユーザーとの健診実施日の予約受付や健診実施後の結果の報告書作成、郵送などの業務を行っております。

経理係では、主に日々の診療収入や各種データによる分析、各種帳簿、振替・仕訳の会計伝票の作成、資金繰りなど財務全般の業務を行っております。

用度では、病院で使用される医療機器をはじめ診療材料・事務器機・図書・消耗品に至るまで、全ての物品の購入等がこの係を経由して流通しています。また常に各部署や担当者・メーカーと情報交換し、いろいろな角度から業務の向上に役立つツールの検討・提案に努めております。

#### 最後に

会員や地域の医療ニーズに応え、信頼され頼りにされる病院として種々の課題に前向きに取り組み歩み続けてまいりますので、ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

（総務部長 下津明人）

お知らせ

特殊外来のご紹介

当院では、以下のとおり特殊外来を開設しております。予約制となっておりますのでご紹介の際には 総合外来受付（内線223・227）にお電話ください。

診療科	診察日	診察医
糖尿病外来	第1・3・5週 火曜日 午後	中崎 満浩（鹿児島大学病院）
内分泌外来	第2・4週 火曜日 午後	〃
心身症外来	第2・4週 水曜日 午前	長井 信篤（鹿児島大学病院）
血液外来	第2・4週 水曜日 午後	徳永 雅仁（鹿児島大学病院）
セカンドオピニオン外来 （造血細胞移植）	毎週 火曜日 午後	武元 良整（シーピーシークリニック）

鹿児島市医師会病院 連携室だより No. 9

創刊日：平成17年8月10日

発行日：平成20年4月10日（年3回 4・8・12月発行）

発行者：〒890-0064 鹿児島市鴨池新町7番1号

鹿児島市医師会病院 院長 山口 淳正

担当：医療支援部 医療連携室

TEL：099-254-1125（代表）

TEL：099-254-1121（連携室直通）

FAX：099-254-1308（連携室直通）

ホームページ：<http://www.minc.ne.jp/kasiihp/>

ご意見などございましたら、お気軽にご連絡ください。